

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
基準日	(1)定時株主総会・剰余金の配当(期末)…… 3月31日 (2)剰余金の配当(中間)…………… 9月30日 (その他必要あるときには、あらかじめ公告いたします。)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
郵便物送付先 電話照会先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. 0120-707-696(フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村証券株式会社 全国本支店
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.nextware.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



当社では貸借対照表および損益計算書を、決算公告に代えて、ホームページに掲載いたしております。

<http://www.nextware.co.jp/>

ネクストウェア株式会社

証券コード：4814

第17期 中間報告書

H18/4/1-H18/9/30

N · e · x · t · W · a · r · e

ネクストウェア株式会社

本社 〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町四丁目3番11号 TEL. 06-6281-0304 (代表) FAX. 06-6281-9860
名古屋オフィス 〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目12番14号 TEL. 052-201-9880 (代表) FAX. 052-201-9888
東京オフィス 〒106-0047 東京都港区南麻布五丁目2番32号 TEL. 03-5447-2511 (代表) FAX. 03-5447-2512

ネクストキャディックス株式会社

本社 〒106-0047 東京都港区南麻布五丁目2番32号 TEL. 03-5447-2615 (代表) FAX. 03-5447-2618
名古屋オフィス 〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目12番14号 TEL. 052-221-8008 (代表) FAX. 052-221-8028
大阪オフィス 〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町四丁目3番11号 TEL. 06-6241-6405 (代表) FAX. 06-6241-6406

株式会社システムシンク

本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田六丁目15番14号 TEL. 03-3833-4811 (代表) FAX. 03-3833-4813



Top Message

◆ 株主のみなさまへ

「いつも NEXT」

～最良のWARE、最適なWARE、最新のWAREを追い求めて～

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、当社第17期営業年度の上半期(平成18年4月1日から平成18年9月30日)の営業の概況等につきご報告申し上げます。

また、このたびの当社元社員による不正行為に端を発した一連の事態に関しまして、株主のみなさまに大変なご心配とご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

当社といたしましては、今回の反省を踏まえ、企業経営及び業務遂行の適法かつ適正性を確保し、社会から信頼される企業であり続けることが社会に対する義務であると考えます。

その一環としまして、8月1日より定常組織として「コンプライアンス委員会」を設置いたしました。同委員会は、私を委員長として全取締役および各部門責任者で構成し、社内コンプライアンス意識の向上を図る推進母体となるものであり、グループ全体におけるガバナンスおよびコンプライアンス体制の構築を

行ってまいります。

今後このような事態が二度と発生せぬよう、徹底した内部統制システムの再強化と更なる経営体質の改善を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

豊田 崇克

◆ ネクストウェアの基本姿勢

社 是

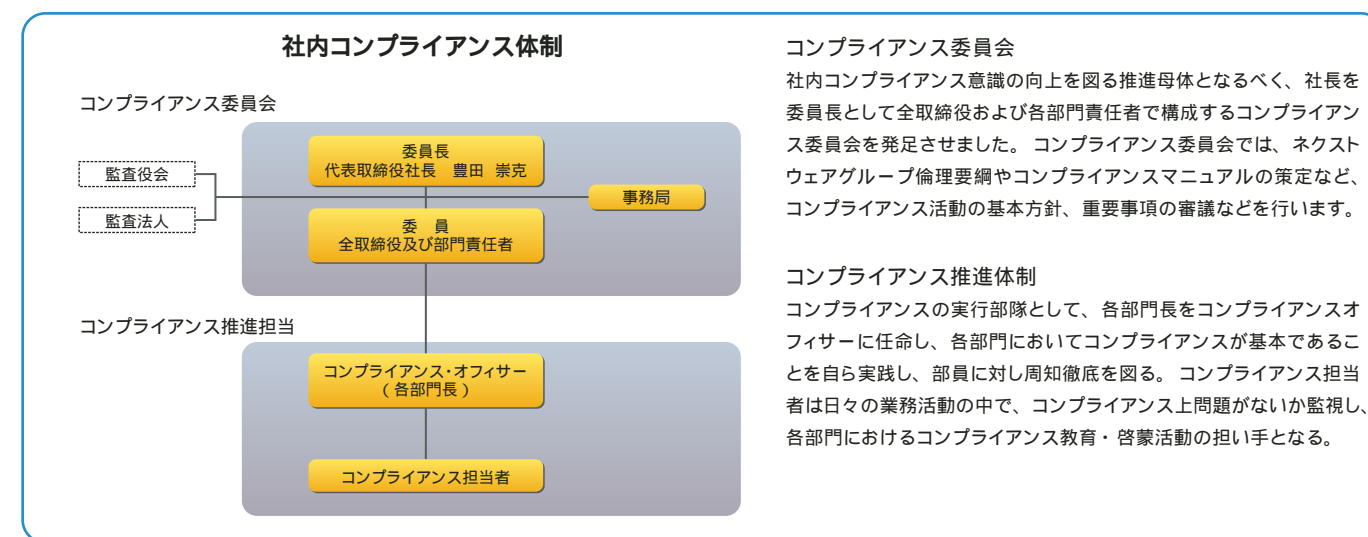
「創造はマインドウェア」

社 訓

- 一、仕事を通して社会に奉仕致しましょう
- 一、仕事を通して家庭を幸福に致しましょう
- 一、仕事を通して会社を発展させましょう

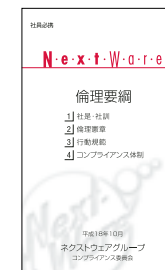
◆ コンプライアンスに対する考え方とその体制

当社は、社員一人ひとりがお客様をはじめ社会全体へ具体的な貢献をしていくことを経営理念としております。その実現のためには、株主の皆様をはじめお客様、従業員など当社のステークホルダーの皆様の信頼を得る必要があります。そのため当社では「コンプライアンス委員会」を設置し、グループ社員全員の遵法意識を高め、「コンプライアンス企業・ネクストウェアグループ」を再構築してまいります。



具体的な取り組み

倫理要綱とマニュアル策定



社員一人ひとりがネクストウェアグループの一員であるという誇りと自覚のもとに、日々の業務のなかでコンプライアンスを意識し、コンプライアンスレベルが向上することを期待してネクストウェアグループ倫理要綱を配布しました。

具体的な取り組み

コンプライアンス勉強会の開催



社員のコンプライアンスレベル強化を目的として、コンプライアンスカリキュラムを作成し、全社員に対し毎月コンプライアンス勉強会を実施しております。

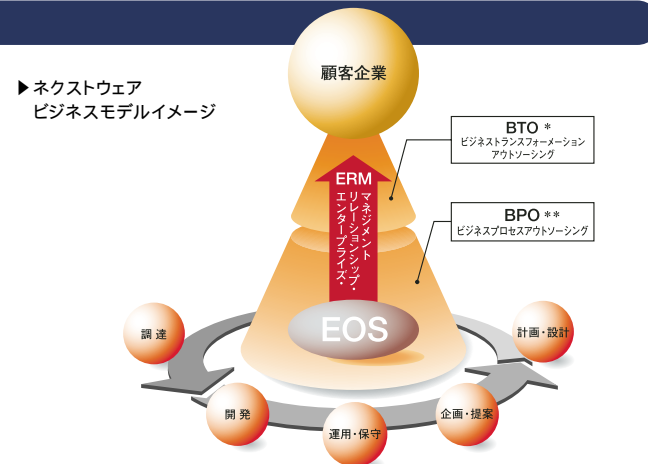
Ware Consulting

お客様とITアウトソーシングサービスからお付き合いが始まり、お付き合いを深める中で様々なソリューションサービスをご提案し、互いに企業価値を高め、リレーションを強化していく。これがネクストウェアの「ウェアコンサルティング」の考え方です。

ウェアコンサルティングのビジネスリレーション

経営環境が劇的に変化し続けている昨今、ITは多様な価値観や技術の変化に対する迅速な対応だけでなく、お客様の利益やビジネスチャンスを創出することも求められています。ネクストウェアは創業以来、技術力の向上はもちろん、お客様のITシステムの現場へ入り込んだ「現場主義」を徹底してまいりました。そのことにより、お客様よりも早く課題を見つけ出し、その課題を従来より構築してきたお客様とのリレーションを通じて解決いたします。

この信頼関係を基盤に、「お客様」と「供給者」の枠組を超え、ビジネスパートナーとして、共に次のビジネスモデルを構築いたします。お客様の満足度を最大限にそれが、ネクストウェアの考えるウェアコンサルティングのビジネスリレーションです。

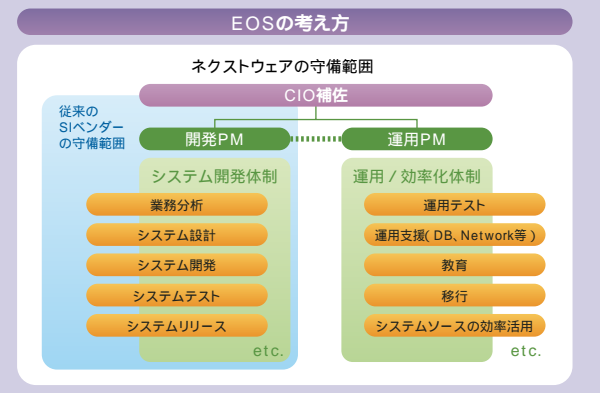


*「BTO(ビジネストラansフォーメーション・アウトソーシング)」
設計・運用まで包括的なアウトソーシングを提供することで、短期間に大きな価値を創出

**「BPO(ビジネスプロセス・アウトソーシング)」
企業の各種事務(財務・人事・給与等)受託により、積極的に改善することで、顧客のITコストを削減

EOS(エンタープライズ・アウトソーシングサービス)

創業以来培ってきた技術・ノウハウをもとに、様々な業種のお客様のITシステムインフラ整備をアウトソーシングさせていただき、ネクストウェアのコア事業です。東京・中部・大阪に拠点を置き、業界に精通した優秀な技術者がシステムコンサルティングから、設計・開発、診断・性能評価、ヘルプデスク、運用・保守にいたるまでワンストップでご提供いたします。最大の特徴は、徹底したユーザー思考。ここから生まれる深い信頼関係の中で、お客様以上にお客様の情報戦略を理解することに努めて、次期システム開発戦略をお客様と共に推進しております。



営業の概況

当中間期の営業概況について

当中間期売上高 **2,480** 百万円 (前中間期 2,546百万円)

当中間期経常利益 **457** 百万円 (前中間期 85百万円)

当中間期におけるわが国経済は、原油価格の高止まりや金利上昇などの懸念材料があったものの、好調な企業収益を背景とした設備投資の拡大や雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の増加など、内需を中心に景気回復が続いております。

情報サービス業界は、業務プロセスの見直しを含めた情報システム再構築のニーズなど、業界全体として情報化投資意欲の活発化が見受けられます。しかし一方では、コスト競争の激しさや納期の短縮化など顧客の情報化投資に対する要求水準はますます高くなっており、採算性の確保が業界として課題となっております。

こうしたなか、平成18年7月、当社元社員の関与による過年度の架

空売が発覚し、株主の皆さまをはじめ関係各位には多大なるご迷惑とご心配をおかけする状況となりました。本件につきまして、改めて皆さま方に深くお詫び申し上げる次第であります。

当中間期の営業概況は、根幹事業であるシステムアウトソーシングおよび既存事業の医療分野、CATV分野などは堅調に推移したものの不正事件に伴う体制の混乱や事業の再編・撤収を実施したことにより、連結売上高は2,480百万円(前中間期比65百万円減、2.6%減)となり、経常利益は457百万円(前中間期比372百万円減)、中間純利益は350百万円(前中間期比189百万円減)となりました。

システムアウトソーシング事業

当中間期売上高 **1,887** 百万円
(前中間期 1,725百万円)

既存顧客からの安定的受注ならびに提案型プロジェクト案件の受注拡大に向けて、顧客志向の徹底・提案力の強化を図り、販売チャネルの拡大を推し進めてまいりました。その結果、新規顧客の発掘、データベース運用・ノウハウを基盤とした大小様々なシステムの受注に至っており、システムアウトソーシング事業の売上は1,887百万円(前中間期比161百万円増)となりました。

ソリューション事業

当中間期売上高 **592** 百万円
(前中間期 820百万円)

医療・物流・CATV・製造・流通・金融分野の顧客に対して、これまで培った開発技術や業務ノウハウを駆使したソリューション提案を展開してまいりました。不正事件に伴う体制の混乱や事業の再編・縮小の実施が業績に影響を与えましたが、顧客のニーズに応えるべく様々なパッケージソフトの提案を実施しております。この結果、ソリューション事業の売上は592百万円(前中間期比227百万円減)となりました。

従来表示しておりましたPBS事業の縮小により、当中間連結会計期間からシステムアウトソーシング事業とソリューション事業の2区分にて表示しております。

連結財務諸表 (単位: 千円)

	当中間期(第17期) (自2006年4月1日 至2006年9月30日)	前中間期(第16期) (自2005年4月1日 至2005年9月30日)	前期(第16期) (自2005年4月1日 至2006年3月31日)
連結貸借対照表			
資産の部			
流動資産	2,446,057	2,350,503	3,173,986
固定資産	937,244	713,736	777,667
資産合計	3,383,301	3,064,240	3,951,653
負債及び純資産の部			
流動負債	1,811,245	1,032,966	1,988,594
固定負債	489,518	675,007	568,845
負債合計	2,300,764	1,707,974	2,557,439
少数株主持分		35,420	38,233
資本金	786,632	609,468	782,644
資本剰余金	891,367	720,262	890,743
利益剰余金	444,872	200,869	94,871
自己株式	191,276	196,957	195,900
その他有価証券評価差額金	4,308	12,796	26,636
新株予約権	8,092		
少数株主持分	36,902		
純資産合計	1,082,537	1,320,846	1,355,979
負債純資産合計	3,383,301	3,064,240	3,951,653

	当中間期(第17期) (自2006年4月1日 至2006年9月30日)	前中間期(第16期) (自2005年4月1日 至2005年9月30日)	前期(第16期) (自2005年4月1日 至2006年3月31日)
連結損益計算書			
経常損益の部			
売上高	2,480,397	2,546,158	5,820,104
売上原価	2,176,910	2,083,252	4,799,329
販売費及び一般管理費	754,887	538,581	1,117,572
営業利益	451,399	75,674	96,796
営業外収益	9,997	1,777	3,065
営業外費用	16,273	11,311	32,459
経常利益	457,676	85,209	126,190
特別損益の部			
特別利益		26,768	45,479
特別損失	146,848	1,000	191,651
税金等調整前中間(当期)純利益	604,525	59,440	272,362
法人税、住民税及び事業税	11,484	29,560	109,945
過年度法人税等	12,202		
還付法人税等	105,326		
法人税等調整額	171,552	70,611	70,231
少数株主利益	1,331	1,030	3,844
中間(当期)純利益	350,001	160,643	456,384

	当中間期(第17期) (自2006年4月1日 至2006年9月30日)	前中間期(第16期) (自2005年4月1日 至2005年9月30日)	前期(第16期) (自2005年4月1日 至2006年3月31日)
連結キャッシュフロー計算書			
営業活動によるキャッシュ・フロー	418,557	13,383	330,868
投資活動によるキャッシュ・フロー	143,076	68,744	238,424
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,301	141,323	612,920
現金及び現金同等物の増加額	510,332	223,451	43,627
現金及び現金同等物期首残高	1,117,648	1,074,021	1,074,021
現金及び現金同等物期末残高	607,316	850,569	1,117,648

Point

資産の部

流動資産: 売上債権の回収が進んだものの、繰延税金資産の増加などにより95百万円増加
固定資産: 事務所増床による差入保証金の増加、連結子会社の取得によるのれんの計上などにより223百万円増加

負債及び純資産の部

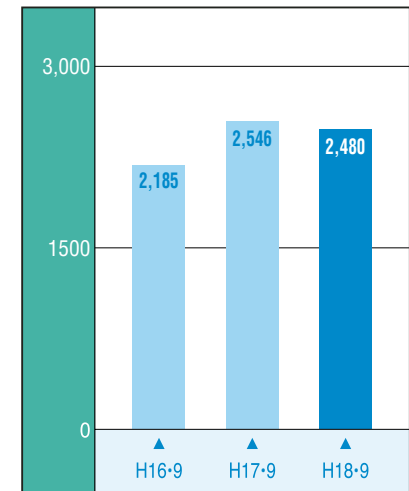
流動負債: 短期借入金や1年以内に償還を迎える社債の増加などにより778百万円増加
固定負債: 1年以内に償還を迎える社債の減少などにより185百万円減少
純資産: 利益剰余金の減少などにより238百万円減少

Point

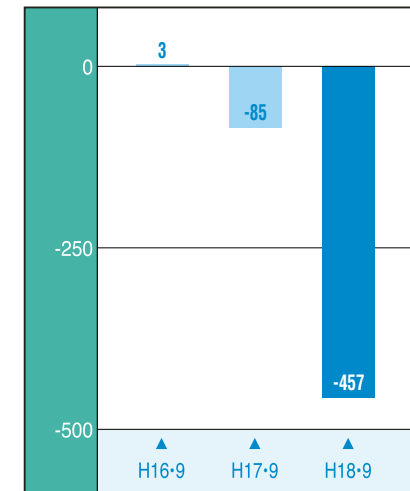
売上高: 連結子会社の取得による増加があるものの、データストレージ事業の縮小により前年同期比65百万円の減少
経常利益: 前年同期比で372百万円の減少
当期利益: 前年同期比で189百万円の減少

グラフで見る業績推移(連結)

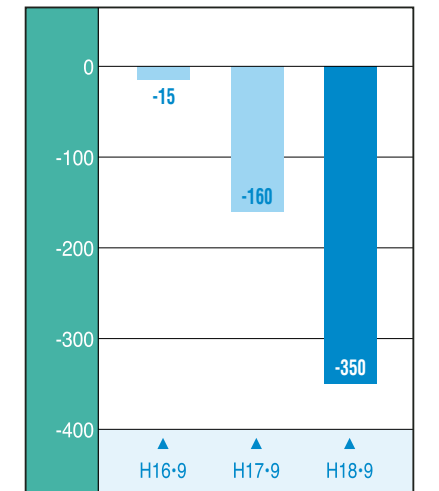
売上高



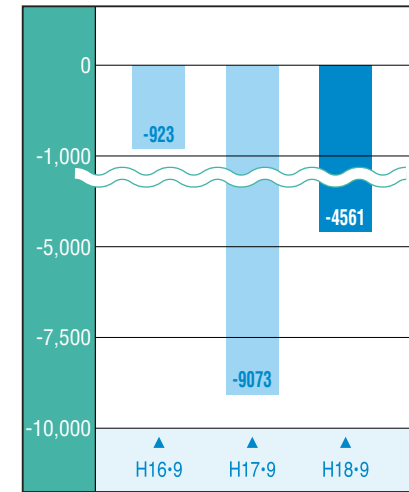
経常利益



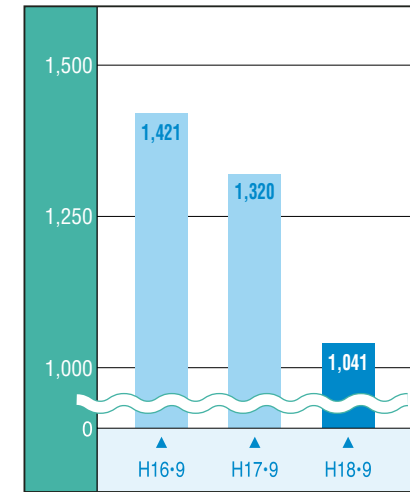
当期純利益



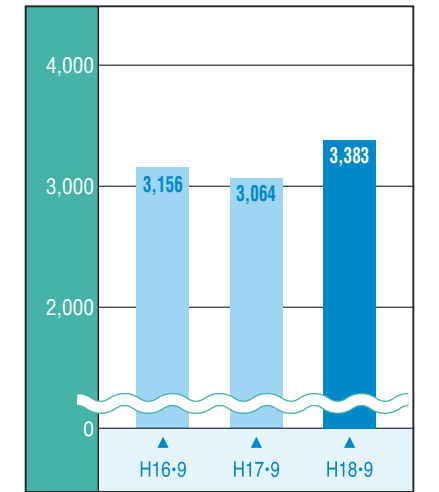
一株当たり当期純利益



株主資本



総資産



◆ 単独財務諸表 (単位: 千円)

	当中間期(第17期) (自2006年4月1日 至2006年9月30日)	前中間期(第16期) (自2005年4月1日 至2005年9月30日)	前期(第16期) (自2005年4月1日 至2006年3月31日)
◆ 単独貸借対照表			
資産の部			
流動資産	2,194,430	2,182,993	2,970,535
固定資産	1,027,407	796,492	852,449
資産合計	3,221,837	2,979,486	3,822,984
負債及び総資産の部			
流動負債	1,705,683	1,004,051	1,927,376
固定負債	441,498	670,780	564,330
負債合計	2,147,181	1,674,831	2,491,706
資本金	786,632	609,468	782,644
資本剰余金	891,367	720,262	890,743
利益剰余金	415,850	184,677	119,572
自己株式	191,276	196,957	195,900
その他有価証券評価差額金	4,308	12,796	26,636
新株予約権	8,092		
純資産合計	1,074,656	1,304,654	1,331,278
負債純資産合計	3,221,837	2,979,486	3,822,984

◆ 単独損益計算書

	当中間期(第17期)	前中間期(第16期)	前期(第16期)
経常損益の部			
売上高	2,180,098	2,403,045	5,446,472
売上原価	1,962,011	2,014,378	4,591,698
販売費及び一般管理費	637,785	472,949	979,829
営業利益	419,698	84,281	125,054
営業外収益	3,111	1,763	3,456
営業外費用	15,620	10,815	32,034
経常利益	432,207	93,334	153,631
特別損益の部			
特別利益		26,768	45,209
特別損失	146,848	1,000	191,651
税引前中間(当期)純利益	579,056	67,565	300,073
法人税、住民税及び事業税	10,157	26,171	97,914
過年度法人税等	12,202		
還付法人税等	105,326		
法人税等調整額	199,811	69,929	69,929
中間(当期)純利益	296,278	163,666	467,917

Point

資産の部

流動資産：売上債権の回収が進んだものの、繰延税金資産の増加などにより111百万円増加
固定資産：投資有価証券の増加、事務所増床による差入保証金の増加などにより230百万円増加

負債及び純資産の部

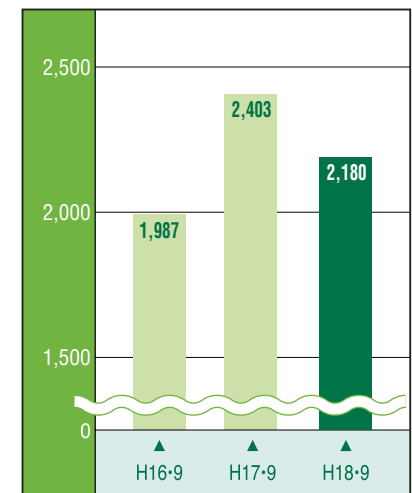
流動負債：短期借入金や1年以内に償還を迎える社債の増加などにより701百万円増加
固定負債：1年以内に償還を迎える社債の減少などにより229百万円減少
純資産：利益剰余金の減少などにより229百万円減少

Point

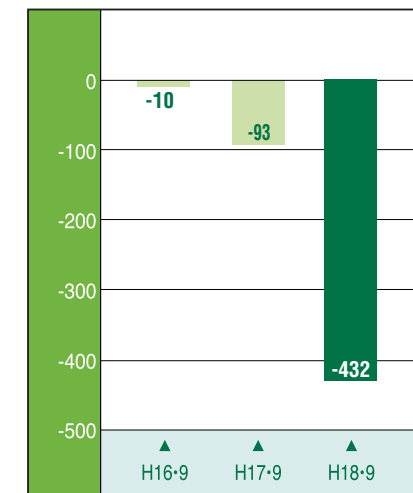
売上高：データストレージ事業の縮小により前年同期比で222百万円の減少
経常利益：前年同期比で338百万円の減少
当期利益：前年同期比で132百万円の減少

◆ グラフで見る業績推移(単独)

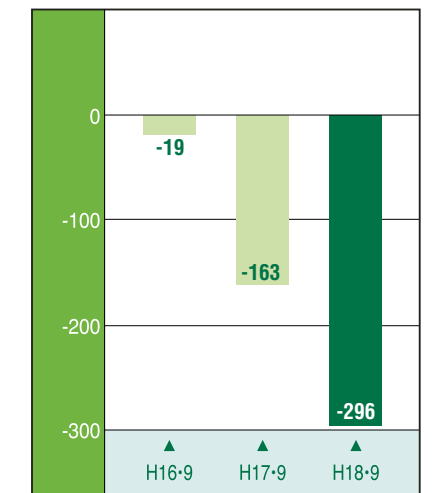
売上高



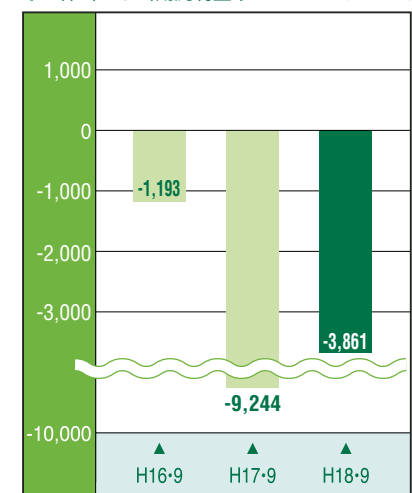
経常利益



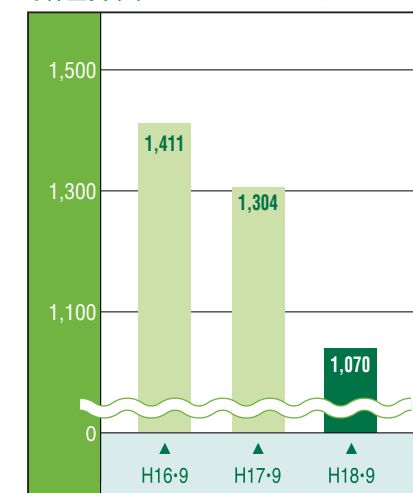
当期純利益



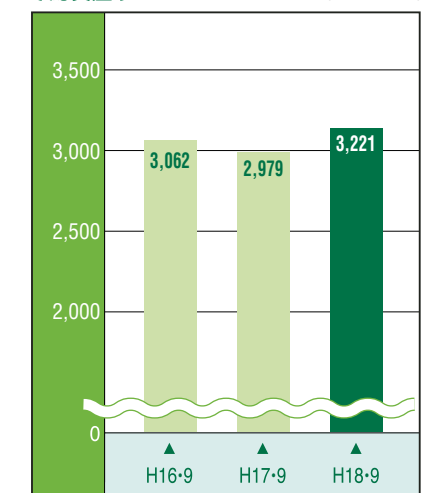
一株当たり当期純利益



株主資本



総資産



Frequently Asked Questions

Corporate Outline

よくいただくご質問

Q1 通期(平成19年3月期)の見通しはいかがですか？

平成19年3月期の連結通期業績につきましては、企業のシステム投資への需要は堅調ではあるものの、低価格競争等により引き続き断を許さない経営環境が予想されます。

また、当社としては、今般の不正事件を契機として、従来からの基盤事業であるアウトソーシング事業を中核に

据え、信頼を基礎とし事業内容を再構築いたしました。

以上を勘案いたしまして、現時点では、売上高7,000百万円、経常利益200百万円、当期純利益170百万円を見込んでおります。

Q2 株主のみなさまへの利益還元については、どうお考えですか？

株主のみなさまに対する利益還元は、最も重要な経営課題と認識し、平成15年3月期より期末配当を実施してまいりましたが、今般の不正事件が業績に及ぼす影響について精査いたしました結果、誠に遺憾ではございますが、今期末配当については見送らせて頂きます。

今後の利益配分に関しましては、当該事業年度の利益の状況などを勘案し、財務体質の強化を図りつつ株主のみなさまへ還元してまいり所存です。

Q3 今般の不正事件への再発防止策についてお聞かせください。

当社といたしましては、二度とこのような不正事件が起こらぬよう、下記のとおり社内管理体制の強化と業務改善策を講じてまいります。

内部牽制の強化・・・現行の関連業務規程及び業務手順を総点検し、ビジネスリスクに対してより強力な内部牽制を機能させる

内部監査の強化・・・内部牽制の実効性を担保する意味で、内部統制を支える重要な要素であるため、その実施強化を図る。

「コンプライアンス委員会」の設置・・・社内コンプライアンス意識の向上を図る推進母体となる。

コンプライアンス意識の徹底・・・すべての法令・社内規定の遵守や企業人・社会人として求められる価値観や倫理観に基づく行動を徹底するため、全従業員を対象にコンプライアンス教育を実施する。



会社概要

会社名	ネクストウェア株式会社 Nextware Ltd.
設立	1990年6月1日
資本金	7億8,663万2,496円(2006年9月30日現在)
決算期	3月31日
従業員数	406名(2006年9月30日現在)
事業内容	1.コンピューターのシステム設計及びソフトウェア開発業務 2.コンピューター及びその周辺機器の賃貸・売買及び輸出入 3.コンピューターシステムの運用管理及び操作支援 4.コンピューターシステムに関するコンサルティング 5.経営に関するコンサルティング 6.各種催事の企画及び運営請負 7.損害保険の代理店業務 8.前各号に付帯する一切の事業
主な事業所	本社 〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町四丁目3番11号 名古屋オフィス 〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目12番14号 東京オフィス 〒106-0047 東京都港区南麻布五丁目2番32号
連結子会社	ネクストキャディックス株式会社 〒106-0047 東京都港区南麻布五丁目2番32号 株式会社システムシンク 〒101-0021 東京都千代田区外神田六丁目15番14号

役員	代表取締役社長 豊田 崇克 代表取締役副社長 田 英樹 専務取締役 梨本 豊代美 取締役 岸 灘 俊 幸 取締役 脇 本 寿 郎 取締役 山 口 能 孝 取締役(社外) 泉 秀 昭 常勤監査役 腰 塚 弘 監査役 藤 原 秀 雄 監査役 服 部 敬	
株式の状況	会社が発行する株式の総数…304,800株 発行済株式の総数……………82,520株 株 主 数……………2,495名	
大株主	当社への出資状況	
株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
有限会社ティ・エヌ・ヴィ	11,824	15.4
豊田 崇克	9,821	12.8
ネクストウェア従業員持株会	2,269	3.0
大阪証券金融株式会社	2,019	2.6
東京海上日動火災保険株式会社	1,920	2.5
太田 修啓	1,862	2.4
田 英樹	1,740	2.3
ネクストウェア取引先持株会	1,450	1.9
和田 成史	1,244	1.6
梨本 豊代美	1,185	1.5
(注)保有自己株式5,644株は、議決権株式数に含んでおりません。		
記載の数値は2006年9月30日現在のものです。		